

# 平成 16 年度 事業計画

財団法人 大阪国際交流センター

グローバル化の進展と情報通信技術の飛躍的な革新・進歩を背景に、政治・経済・文化をはじめさまざまな分野での人・もの・情報の交流がより活発になっていくことに伴い、国際社会の動向と市民生活や地域社会とが直接影響し合う国際的な相互依存関係が深まってきています。その結果、国の枠を越えて都市が直接その魅力を競い合う「都市間競争」の時代を迎え、また本格的な地方分権化の潮流のもと、国際社会の変化を的確にとらえ、地球的な視野に立っての国際交流・協力活動を推進していくことがますます重要となってまいります。一方、近年躍進めざましいNGO・NPOと連携・協力した事業展開も必要となっております。

大阪国際交流センターは、1987年に開設して以来、大阪を中心とした関西一円において、歴史、文化等地域の特性を生かした国際交流活動や市民・外国人を含む地域の住民の国際交流、国際協力に資する事業を積極的に展開することにより、市民レベルの相互理解や友好親善を促進するとともに、わが国の国際化に寄与し、現在では全国有数の地域国際化協会として発展を遂げてまいりました。

平成 16 年度は、地域国際化協会を取り巻く環境が大きく変化するなかで、過去から培ってきた良きものは継承しつつ、事業の再評価・精査を行い、大阪国際交流センターの存在意義を高めてまいりたいと考えております。そのためには、大阪を関西圏を牽引する大都市としてさらに発展させ、世界に貢献する大阪の実現に寄与するため、国内外の広報の強化やきめ細かい地域内広報の展開と、新広報戦略の構築を図り、当センターの利用率向上・来館者の増大・認知度アップをめざした販わい戦略を一層推進いたします。新たな時代のニーズに対応した留学生支援施策の展開およびNGO・NPOとの連携・協力にも一層力を注ぎ、職員並びにボランティアなどの人材養成はもとより、留学生や派遣スカラなどセンター事業を通じた「人的ネットワーク」の構築を推進してまいりたいと考えております。新たな事業としては、発展途上国に対する草の根レベルの国際協力として、近年注目されはじめている「フェアトレード」に焦点をあてた国際シンポジウムの開催、ならびにブース出展によるフェアトレード商品の展示等を、NGO・NPOとの連携を図りながら実施いたします。

一方、極めて厳しい経済状況の中で、事業の効果的・効率的執行に努めるとともに、大阪国際交流センターの将来像を展望しつつ、国際交流活動の拠点として、先導的・積極的な活動を推進し、大阪はもとより関西一円における国際化の進展に努めてまいります。